

「新しい文化」を語る
第 35 回浜松コンファレンス開催
9 月 21 日（金）から先着順で申し込み受付開始

2018 年 9 月 20 日
公益財団法人 光科学技術研究振興財団
理事長 晝馬 明

当財団は、「文化の日に文化を語ろう」と毎年開催している「浜松コンファレンス」を、11 月 3 日（土）文化の日にアクトシティ浜松・中ホール（定員 1,000 名）で開催いたします。参加申し込みは 9 月 21 日（金）から先着順で受け付けます。

この催しは、今年で 35 回目を数えます。今後ますます光技術の重要性が認識されるなかで、今年も地域の皆様に最先端の研究を紹介させていただきます。

今年は、自然科学研究機構分子科学研究所 研究主幹・教授の大森賢治氏が「量子力学に残された 100 年の謎に迫る」をテーマに講演します。また、講演の前に、ピアノ 宮野寛子氏、ベース コモブチキイチロウ氏による音楽鑑賞があります。開催にあたっては、当財団理事長で浜松ホトニクス株式会社代表取締役社長 晝馬明が挨拶を行います。

概要は以下の通りです。

記

＜開催概要＞

第 35 回 浜松コンファレンス「新しい文化論」

日 時：11 月 3 日（土）文化の日

開場 13：00 開演 13：30 終演 17：00（予定）

会 場：アクトシティ浜松・中ホール

主 催：公益財団法人 光科学技術研究振興財団

共 催：浜松市

後 援：浜松商工会議所、公益財団法人 浜松・浜名湖ツーリズムビューロー、K-mix、
浜松ホトニクス株式会社

定 員：1,000 名（先着順に受け付け、定員となり次第締め切りとさせていただきます）

参 加 料：無料

申し込み方法：光科学技術研究振興財団の Web サイトまたは申し込み専用電話から

URL：https://www.refost-hq.jp/ TEL：053-458-0008

プログラム：

13：30～ 主催者挨拶

公益財団法人 光科学技術研究振興財団 理事長

浜松ホトニクス株式会社 代表取締役社長

晝馬明

14：00～ 音楽鑑賞

ピアノ 宮野寛子 氏、ベース コモブチキイチロウ 氏

15：00～ 講演「量子力学に残された100年の謎に迫る」

自然科学研究機構分子科学研究所 研究主幹・教授

大森賢治 氏

＜今回の講演内容＞

「量子力学に残された 100 年の謎に迫る」 大森 賢治

電子や原子などミクロな粒子の「波の性質」に基づくある種の曖昧さ（同時に異なった複数の状態を取れる性質）を活用した「量子科学技術」が材料開発、創薬、情報セキュリティ、人工知能、流通などに革命を起こし得るとして注目されています。一方、量子科学技術の根本にある量子力学が確立されてほぼ 100 年が経とうとしていますが、実は量子力学には未だに解決されていない最大の謎が一つ残されているのです。「物質が波に見えるミクロな量子力学の世界と、粒子に見える巨視的な世界の境目はどう繋がっているのだろうか？」量子科学技術の実用化はこの謎の解明無しにはあり得ません。本講演では、この 100 年の謎について、世界各国の量子科学技術政策の動向を交えながら解説します。

（プロフィール）

自然科学研究機構分子科学研究所 研究主幹・教授。専門は量子物理学・物理化学。1987年東京大学卒、1992年同大学院工学系研究科博士課程修了、工学博士。東北大学助手・助教授を経て2003年9月より現職。2012年より独ハイデルベルグ大学客員教授。2014 -2016年仏ストラスブール大学客員教授。2007年日本学士院学術奨励賞、同年日本学術振興会賞、2009年アメリカ物理学会フェロー表彰、2012年ドイツ連邦共和国・フンボルト賞、2017年松尾財団宅間宏記念学術賞、2018年文部科学大臣表彰科学技術賞他、受賞多数。光と物質の相互作用をアト秒精度で観測・制御する技術や、時空間における分子の振る舞いをフェムト秒ピコメートルの精度で可視化する技術で、世界的に知られる。



大森 賢治

＜浜松コンファレンスについて＞

浜松で「新しい文化論」を生み出す場を設けようと、1984年9月に浜松コンファレンス実行委員会が発足しました。同年の第1回開催以来毎年開催され、第17回からは浜松ホトニクス株式会社が主な出捐者となっている当財団が、光科学技術の普及啓発事業の一環として主催しています。

講演では、光技術の応用など、多分野の研究者が最先端のサイエンスで何が行われているかを分かりやすく解説し、そこから生まれる「新しい文化」について考えを発展させてきました。

＜この件に関するお問い合わせ先＞

浜松ホトニクス株式会社 広報室 野澤 利行

〒430-8587 浜松市中区砂山町 325 番地の 6 日本生命浜松駅前ビル

TEL053-452-2141 FAX053-456-7888

携帯電話 090-7695-1616（17 時以降は携帯電話をお願いします）

<浜松コンファレンス / 最近の講演テーマ> * 役職は開催時のもの(敬称略)

回 年	講演テーマ	
34 17	株式会社日立製作所 理事 研究開発グループ 技師長 矢野 和男	人工知能はビジネスをどう変えるか
33 16	東京大学宇宙線研究所 所長 東京大学 特別荣誉教授 梶田 隆章	ニュートリノの小さい質量の発見
32 15	自然科学研究機構国立天文台副台長 教授 総合研究大学院大学数物科学研究科天文科学専攻 教授 渡部 潤一	宇宙生命は存在するか ー天文学からのアプローチー
31 14	東京大学 国際高等研究所 カブリ数物連携宇宙研究機構 機構長 特任教授 村山 斉	宇宙に終わりはあるか
30 13	大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 国立天文台長 林 正彦	現代の天文学と宇宙における生命
29 12	東京大学先端科学技術研究センター 生命知能システム分野教授理学博士 神崎 亮平	昆虫パワーの科学 ー昆虫からみた脳科学・ロボット・教育の未来ー
28 11	東京大学教授宇宙線研究所 神岡宇宙素粒子研究施設長 鈴木 洋一郎	暗黒物質(ダークマター)の探索実験
27 10	宇宙航空研究開発機構(JAXA) 月・惑星探査プログラムグループディレクタ 宇宙科学研究所教授 川口 淳一郎	「はやぶさ」の帰還への7年間の 運用と、今後の展望について
26 09	情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所副所長・生命情報・DDBJ研究 センター長 五條堀 孝	眼の起源と進化 ～われわれはどうして光を見る ことができるようになったのか
25 08	国立遺伝学研究所・集団遺伝研究部門教授 斎藤 成也	光と遺伝子 ～宇宙の歴史における生命の歴史
24 07	自然科学研究機構国立天文台教授・次世代超大型望遠鏡プロジェクト長 冢 正則	すばる望遠鏡で探る 137 億年の宇宙史
23 06	大阪市立大学大学院・医学研究科システム神経科学教授 渡辺 恭良	疲労と意欲 ～見えてきたものといまだ見えざるもの
22 05	総合研究大学院大学理事・高等研センター長 菅原 寛孝	光で見た宇宙 ～宇宙は無から創られたか
21 04	名古屋大学大学院理学研究科教授 三田 一郎	物理学者から見た神の神秘
20 03	高知工業高等専門学校長 中井 貞雄	レーザーと未来社会Ⅱ 新産業創成
19 02	高エネルギー加速器研究機構・東京大学宇宙線研究所教授 戸塚 洋二	ニュートリノ研究 20 年
18 01	立川音楽工房・古楽器奏者 立川 叔男	調べは時代を超えて